



泥んこって気持ちいいね

白鶴保育所「田植え」

白鶴保育所の園児は6月9日、川田康雄さんが所有する水田＝神崎＝で、田植えを行いました。

これは、農業に触れる機会の少ない子どもたちに、少しでも思い出に残る体験をしてもらおうと川田さんが企画したもの。参加した年長児8人は、泥の感触を楽しみながら、丁寧に苗を植えていました。

9月には園児が稲刈りを行い、川田さんや地域の人たちを招待して「おにぎりパーティー」を開催する予定です。



いつまでも歩ける自分で

まっさき健康 UP エクササイズ

「まっさき健康 UP エクササイズ～姿勢改善コース～」の第2回は6月18日、文化センターで行われました。

全6回に渡るこの教室は、参加者一人一人が「なりたい自分」をイメージして設定した目標の達成に向け、ストレッチや体幹トレーニングなどを学ぶもの。講師の窪田三思先生から指導を受けた参加者たちは、日常生活で生かせるよう意識しながら、負担を掛けない体の使い方を実践していました。



色鮮やかな花がお出迎え

伊予農生が花壇を植え替え

伊予農業高等学校園芸流通科の2年生11人は5月28日、授業の一環で役場玄関前の花壇の植え替えを行いました。

今回植えられたのは、「いつも元気」の花言葉を持つ300株のポータチュラカ。生徒たちは、真つすぐ等間隔になるよう気を付けながらも、手際よく植えていきました。

暑さに強いポータチュラカは、これから秋ごろまで楽しむことができます。



大きくなって帰っておいで

アユの稚魚を放流

重信川漁業協同組合（本多義雄代表理事組合長）は5月26日、重信川流域にアユの稚魚を放流しました。

稚魚の放流は、河川環境保全の意識向上と漁業の振興を目的に、毎年この時期に同組合が行っているものです。当日は、出合橋河川敷をはじめ、計5カ所に約3万7,500匹を放流しました。

アユの稚魚は、組合員らによって放流されると、広い川へと力強く泳いでいきました。

